

InterFM897

The 245th Programming Deliberation Committee
第 245 回番組審議会 議事録

開催日 2020 年 12 月 15 日 (火)

出席者：湯川れい子委員長、亀渕昭信委員、西田善太委員、安藤美冬委員、吉田拓巳委員

1、

議題（審議番組）：タイトル：sensor

放送日時 : 毎週月曜-金曜 19:00 – 20:00

DJ : DJ Cartoon

会社からの説明

ダンスミュージック、ファッショニ、ストリートスポーツなど東京と世界のカルチャーを繋ぐキュレーションプログラム。DJは、名古屋発、東京経由、世界発信。Tech House、Techno、Houseを自由に行き来するプレイスタイルで、クラブDJとしても活躍。ストリートブランド「MESS THE MAN.」のプロデューサーも務めるCartoon。

番組ではアジア向けインターネット・テレビ事業主VIVID DIGITAL LIMITEDが運営する〈LotusTV〉がコラボレーションし、映像ラジオ企画、Tower Recordと連動した新人アーティスト発掘も行っています。様々なジャンルのクリエイターをゲストに招き番組発クリエイティブエージェンシーとして進化する事が目的です。

委員からの意見・感想

審議委員 A

DJ 同士のトークは内輪感が否めない。ただ、海外アーティストからのコメントもあり、グローバルなつながりが感じられたのは良かった。また、Lotus TV の配信映像のインパクトはラジオコンテンツの域を超えていた。ラジオと配信、日本と海外との結びつきに、可能性・未来性を感じる番組だった。

審議委員 B

まさにラジオらしい構成と進行で、ライブ感もあり、すごく良かった。DJ の力の抜けた感じも印象が良く、アシスタント DJ の小峯さんの回しも素晴らしかった。生活を邪魔しない、聞き流しの BGM にも適した番組だと感じる。

審議委員 C

配信ありきで話しているようで、ルックスに関する話についてはわからない箇所が多く、もっとラジオリスナーを意識した説明が欲しかった。また、構成やインタビュー内容はオーソドックスな番組の枠を出ないので、印象には残らなかった。ただ、タワーレコードの小峯さんのトークの回しや、ゲストの生演奏パートはとても良かった。

審議委員 D

可もなく不可もない番組。DJ のしゃべりが平凡だった。ゲストコーナーでは、バンドメンバー全員が一度に会話に参加していたが、人数を分けてトークするといった工夫をしたり、もっとゲストの人柄がわかるようなトークを引き出してあげられると良くなるのではないだろうか。エンディングも、締めの言葉などがなく、中途半端な印象だった。

審議委員 E

リスナーと DJ が仲間意識を持っていることが伝わってきた。また、最前線の情報や音楽に触れる感覚もあり、生放送であることでそれが一層引き立てられてよかったです。ただ、動画配信に意識が向いているように感じたので、言葉で情景を伝えられるようになってもらいたい。また、ゲストコーナーについては、冒頭のゲスト紹介のトークが長すぎるので、ミュージシャンならば楽曲から入ったほうが良い。番組ラストも尻切れトンボの印象で残念だった。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上